

連P市護名

「人間力育成が鍵」

秋田視察を市に報告

【名護】名護市PTA連合会（金城毅会長）の役員5人が5月に秋田県大館市を視察し、5日に座間味法子教育長を訪ね



秋田県大館市で工芸品を見学する金城毅会長（左から2人目）ら名護市PTA連合会の役員ら5月30日

係者の交流が縁で実現した。名護市PTA連からは金城会長、末吉司副会長、島川直樹・屋我地小教頭らが参加した。大館市立釈迦内小学校では、児童が植えたヒマワリを特産品の油に加工する6次産業の拠点として、売り上げを児童の体験学習に活用するなどの取り組みをしている。このほか、工芸品の工房も見学した。金城会長は「学校と行政の縦軸に地域の商店街など横軸がしっかりしている。このつながりが地域力であり、自然豊かな名護で可能性はある」と強調した。

て現地での視察内容を報告した。金城会長は学校を地域活性化の拠点と位置付け、体験学習などに取り組む小学校を例に挙げ「学力全国一の秋田県だが、学力よりも人間力育成に力を入れている。学校と地域のつながりに可能性、理念があった」と話し、名護でも地域と学校の協力が進められるよう提言した。

視察はまちおこしのために地域住民が映画をつくった大館市と、映画製作に取り組む名護市の関